

座間9遺体 1カ月

神奈川県座間市のアパート内で9人の遺体が見つかった事件は30日で発覚から1カ月。交流サイト(SNS)で若者の相談に乗っている団体には、今も深刻な悩みが連日寄せられている。助けを求め、若者が犯罪に巻き込まれる悲劇を二度と起こすまいとNPOや行政は試行錯誤を続けている。

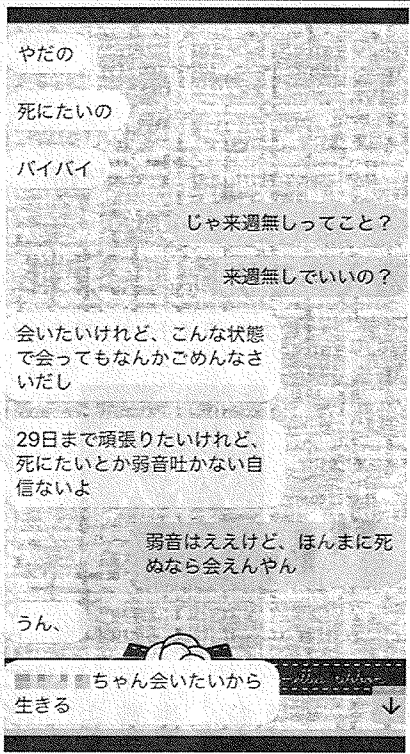
「またリストカットした」「生まれてこなければよかった」。NPO法人「若者メンタルサポート協会」(東京)の岡田沙織理事長(44)のスマートフォンには連日、無料対話アプリ「LINE(ライン)」で10代男女からの切実なメッセージが届く。相談は夜間だけで70件以上という。文字でのやり取りは、何気ない一言が相談者を傷つけてしまう恐れもある。急増する相談に対応するため、同協会は20

若者の悩み SNSに

18年からLINEやメールで相談に応じられるカウンセラーの養成も本格的に始める予定だ。岡田さんがLINEでの無料相談に応じ始めたのは12年。これまでに相談してきた約4千人はほとんどが10代だ。岡田さんは「電話だと悩みを打ち明けづらいと感じる子が多い」と話す。行政もLINEを使った相談に注目している。長野県はLINEの運営会社と連携して9月、県内の中高生からの悩み相談を試行した。期間中の2週間に寄せられた相談は計547件で、16年度に県の電話相談に未成年からかかってきた件数の2倍以上になった。県の担当者は「今後もLINEでの相談を継続したい」と話す。

「リアルな世界で支援」模索続く

短文投稿サイト「ツイッター」を活用するのは認定NPO法人「3ke 限られる物証 捜査長期化も 警視庁高尾署捜査本部は、無職の白石隆浩容疑者(27)を東京都八王子市の女性(23)に対する殺人容疑で再逮捕し、動機や詳しい手口を調べている。残る8人への殺人容疑なども立件する方針で、捜査は長期化する見通しだ。被害者の多くは交流サイトで自殺願望をほめかしていたとされる。白石容疑者が「殺害時の同意はなかった」と供述したことから、同本部は殺人容疑を適用できると判断。八王子の女性も「窒息死させた」とする供述と遺体の解剖所見が矛盾しないとして殺人容疑で再逮捕した。ただ、いずれの被害者も遺体の損傷が激しく死因の特定が難しい上、携帯電話が破壊されるなど物証も乏しいとされる。



NPO法人「若者メンタルサポート協会」の岡田理事長に寄せられる相談(一部画像処理しています)